
介護タクシー川村

事業継続計画

Business Continuity Planning

2024年01月01日 作成

目次

目次	1
1. BCPの基本方針	2
(1) 目的	2
(2) 基本方針	2
(3) 重要サービス.....	2
2. 緊急事態の位置付けと被害想定	3
(1) 緊急事態の位置付け	3
(2) 被害想定	3
3. 重要商品提供のための対策.....	4
(1) 事前対策のステップ	4
(2) 事前対策の検討	4
4. 緊急時の体制	6
(1) 緊急時の統括責任者	6
(2) 災害対策本部について	6
(3) BCPについて.....	6
5. BCPの発動フロー	7
6. BCPの運用.....	8
(1) BCPの定着	8
(2) BCPの見直し.....	8
7. その他参考情報.....	9
(1) 新型インフルエンザ（強毒性）の被害想定.....	9
(2) ハザードマップ	10
(3) 避難場所	11
(4) 主要な連絡先.....	12

1. BCPの基本方針

(1) 目的

本計画は、緊急事態（地震の発生等）においても、従業員及びその家族の安全を確保しながら自社の事業を継続することを目的として策定したものである。

(2) 基本方針

当社は、以下の基本方針に基づき、緊急事態における事業継続に向けた対応を行う。

チェック	基本方針
☑	人命の安全を守る
☑	事業所の経営を維持する
☑	乗客からの信用を守る
☑	サービス提供責任を果たし事業を継続する
☑	地域公共交通を守る

(3) 重要サービス

緊急事態においても、事業所で優先的に継続もしくは復旧させるサービス（以下、重要項目という）は、以下のとおりである。

重要サービス

福祉輸送サービス

2. 緊急事態の位置付けと被害想定





(1) 緊急事態の位置付け

本計画においては、事業所への直接的被害により事業に影響が出るような状況（地震の場合、震度6弱以上を目安とする）を緊急事態と位置付ける。





(2) 被害想定

緊急事態の一例として震度6弱以上の大規模地震が起きた場合の被害を以下のとおり想定する。

インフラへの影響

項目	利用可否	想定される影響
ライフライン 	×	<ul style="list-style-type: none"> 停電が発生し、水道とカ電気が停止する その後、電気→水道の順番で復旧する
情報通信 	×	<ul style="list-style-type: none"> 発生直後は、電話が繋がりにくなる。携帯電話には通信規制がかかる（インターネットは比較的繋がしやすい） その後、ケーブル断線の復旧等により順次復旧する
道路 	△	<ul style="list-style-type: none"> 津波などの影響で、一部の道路が通行規制・通行止めになる その他の道路で、渋滞が発生する
公共交通 	△	<ul style="list-style-type: none"> 発生直後は、公共交通の一部の運行が停止する その後被害の少ない地域から順次再開する

事業所への影響

項目	想定される影響
ヒト 	<ul style="list-style-type: none"> 設備や什器類の移動・転倒、耐震性の低い建物の倒壊、津波の発生等により一部家族が負傷する 家族の負傷、交通機関の停止等により出勤できなくなる
モノ 	<ul style="list-style-type: none"> 事務所等が、大破・倒壊・浸水する 固定していない設備・什器類が移動・転倒する 備品類が落下・破損する 仕入先の被災により、部品や燃料等が調達できず、サービス提供ができなくなる
情報 	<ul style="list-style-type: none"> パソコン等の機器類が破損する 重要な書類・データ（顧客管理簿、仕入先管理簿、緊急連絡網等）が復旧できなくなる
カネ 	<ul style="list-style-type: none"> サービス提供の停止や出勤率の低下により事業が停止してしまい、その間の売上がなくなる 事業所の運転資金（運営資金、賃借料等）と建物・設備等の復旧のための資金が必要となる

3. 重要サービス提供のための対策

(1) 事前対策のステップ

重要サービス（福祉輸送サービス）を提供するための事前対策の手順は以下のとおりである。



(2) 事前対策の検討

経営資源ごとの事前対策チェックリスト

STEP 1			STEP 2		
資源	項目	チェック	何を	誰が	いつ
ヒト	<ul style="list-style-type: none"> 家族の安否確認ルールの決定や安否確認手段の確保を行っているか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に SMS 送信される安否確認メールに回答する。 	代表 家族	震度 5 以上 その他災害時
	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時に出勤できない場合に、代行できる事業者を育成しているか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 連携する事業者を複数でカバーする体制を目指す。 	代表	随時
モノ	<ul style="list-style-type: none"> 什器や棚等、設備を固定しているか？ 	<input type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 怪我が発生しないように腰以上の高さがあるものは固定を行い、棚への備品配置も配慮する。 	代表	随時
	<ul style="list-style-type: none"> 代替調達や代替提供等、業務を代替して行う手段を確保しているか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> すぐに業務を再開できるようにクラウド上の情報を集約する。 クラウド上のデータもバックアップを行う。 	代表	随時

STEP 1			STEP 2		
資源	項目	チェック	何を	誰が	いつ
情報	<ul style="list-style-type: none"> 重要なデータを特別に保管(バックアップ、事務所内等)しているか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 印鑑は、個別に保存する。 データは、クラウド上に保存し、バックアップも行う。 	代表	随時
	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時に取引先等へ情報を発信、取引先等の情報を収集する手段を整備しているか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> バックアップデータや代替端末を用いて、連絡を取る。 	代表	災害発生時
カネ	<ul style="list-style-type: none"> 事業が停止した場合に、必要な運転資金を把握しているか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 財務状態の把握 	代表	毎月の試算表作成時
	<ul style="list-style-type: none"> 緊急時に運転資金として活用できる現金・預金を準備しているか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 現金の確保 	代表	財務状況悪化時
その他	<ul style="list-style-type: none"> 取引先及び同業者等と災害発生時の相互支援について取り決めているか？ 	<input type="checkbox"/> はい <input checked="" type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 重要サービスについては、同業他社で連携できるサービス体制を構築する。 	代表	同業他社に確認
	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時に移動困難者に対して支援できるか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 気温の変化や風雨から身を守る防風、防水、保温シートを搬送資器材として確保する。 	代表	随時
	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報漏洩発生時の対策ができているか？ 	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護方針と連動して、災害時の個人情報の運用を確保し、適切に対応する。 	代表	随時

4. 緊急時の体制

(1) 緊急時の統括責任者

地震等の災害発生により、緊急事態となった際の統括責任者及び代理責任者は以下のとおりとする。

統括責任者の役割	統括責任者	代理責任者 1	代理責任者 2
事業所の対応に関する重要な意思決定 及び指揮命令	代表	配偶者	同居家族

(2) 災害対策本部について

災害対策本部の設置基準

設置基準

- 震度 4 以上の地震が起きた時
- 自宅への直接的被害により事業に影響が出るような状況が発生した時
- その他、代表が必要と判断した時

災害対策本部の設置場所

第 1 候補	第 2 候補
事業用車両	家族の自家用車

(3) BCP について

BCP の発動基準

発動基準

- 震度 6 弱以上の地震が起きた時
- その他、代表が必要と判断した時

5. BCP の発動フロー

BCP 対応	行動内容例	担当責任者	
		第一順位	第二順位
統括	<ul style="list-style-type: none"> 事業所の対応に関する重要な意思決定、指揮命令、統括 BCP 対応拠点の立ち上げ 	代表	配偶者

緊急事態発生

人命の安全確保	<ul style="list-style-type: none"> 避難計画に基づく家族の避難の実施 防災備蓄品を用いた救援活動 二次災害防止対応 ルールに従い家族の安否確認実施 被災した家族の対応 	代表	配偶者
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> 初期消火、瓦礫処理による避難経路確保等周辺地域の安全確保に協力 	代表	配偶者
被災状況把握	<ul style="list-style-type: none"> 事業所建物、設備、通信システム等の被害状況の確認 	代表	配偶者
対外的な情報発信 および情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 顧客、連携事業所の被災状況の収集、インフラの被災・復旧状況把握 事業所主要拠点の被害状況、稼働状況の情報発信 	代表	配偶者
復旧作業	<ul style="list-style-type: none"> 連携事業所と協力した片付け 施設・設備、データの復旧作業 安否確認による出勤可能体制や材料の確保状況、連携先の要望に基づき生産計画を立てる 	代表	配偶者
地域貢献	<ul style="list-style-type: none"> 周辺地域の被災建物の片付け等に協力し復旧活動に貢献 	代表	配偶者
対外的な情報発信 および情報共有	<ul style="list-style-type: none"> 重要業務の再開 各種取引先への連絡、調整 行政、業界団体への対応 対外的な情報発信 	代表	配偶者
重要業務の再開	<ul style="list-style-type: none"> 業務再開、各種取引先への連絡・調整 	代表	配偶者

6. BCP の運用

(1) BCP の定着

BCP の重要性や進捗状況等を事業所内に周知するため、定期的に家族に対して、以下の教育を実施する。

教育計画

誰が	何を	いつ
代表	家族に対して、BCP の進捗状況や問題点を説明する	毎年 1 回以上
代表	避難訓練・安否確認訓練の実施	年 1 回以上
代表	シミュレーション訓練（図上訓練）の実施	年 1 回以上

(2) BCP の見直し

BCP の実効性を確保するため、以下の基準に基づき BCP の見直しを行う。

BCP を見直す基準





いつ	どのように
<ul style="list-style-type: none">日頃の顧客管理、仕入先管理の結果に大幅な変更があった場合サービスの変更、サービスの追加、連携体制の変更等があった場合	<ul style="list-style-type: none">BCP を見直す必要があるか検討を行い、その必要があれば即座にその変更を BCP に反映する
<ul style="list-style-type: none">毎年 1 回以上	<ul style="list-style-type: none">事前対策の進捗状況や問題点をチェックし、必要に応じて BCP を見直す
<ul style="list-style-type: none">毎年 1 回以上	<ul style="list-style-type: none">訓練を行った後、問題点をチェックし、必要に応じて BCP を見直す。

7. その他参考情報



(1) 新型インフルエンザ（強毒性）の被害想定

緊急事態の一例として震度 6 弱以上の大規模地震が起きた場合の被害を以下のとおり想定する。

インフラへの影響

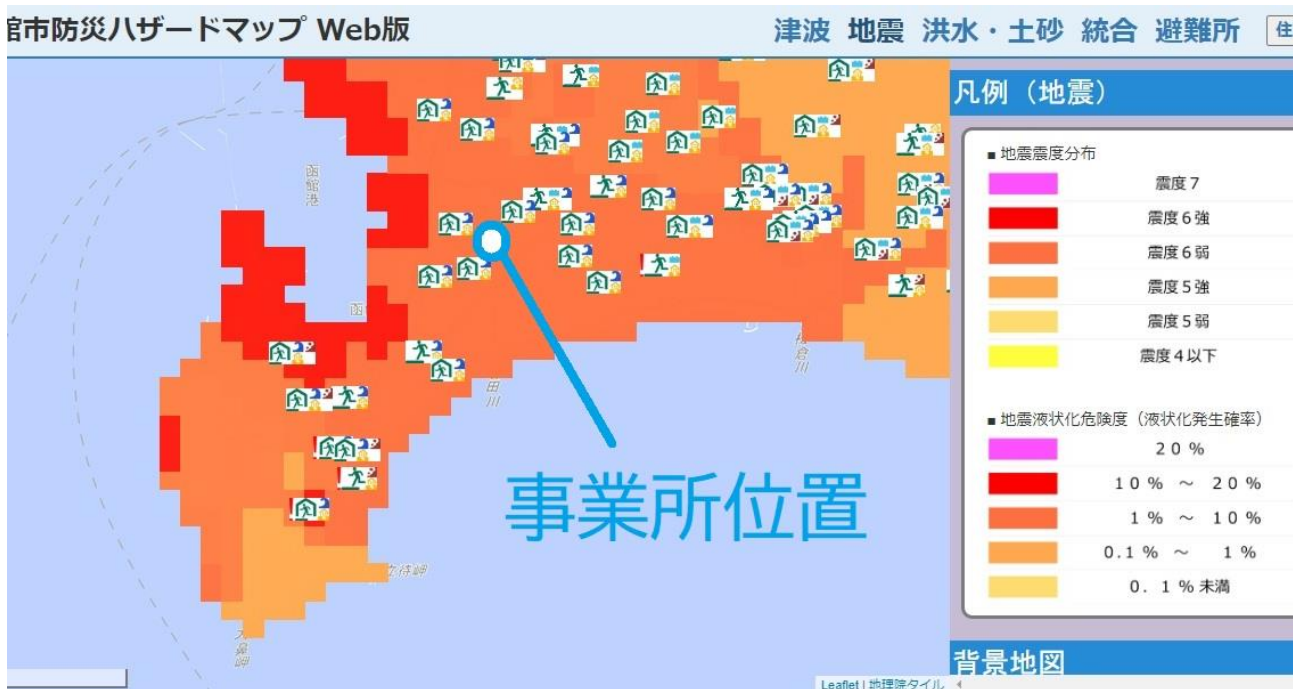
項目	利用可否	想定される影響
ライフライン 	○	<ul style="list-style-type: none">社会機能の維持に関わるライフライン（電気、ガス、水道）は、基本的には、通常どおり使用できる
情報通信 	○	<ul style="list-style-type: none">電話、インターネット等の情報通信手段は、基本的に通常どおり使用できる
道路 	○	<ul style="list-style-type: none">道路に大きな影響はなく、基本的に通常どおりに利用できる
公共交通 	△	<ul style="list-style-type: none">運行本数が減少する乗客数が制限される

事業所への影響

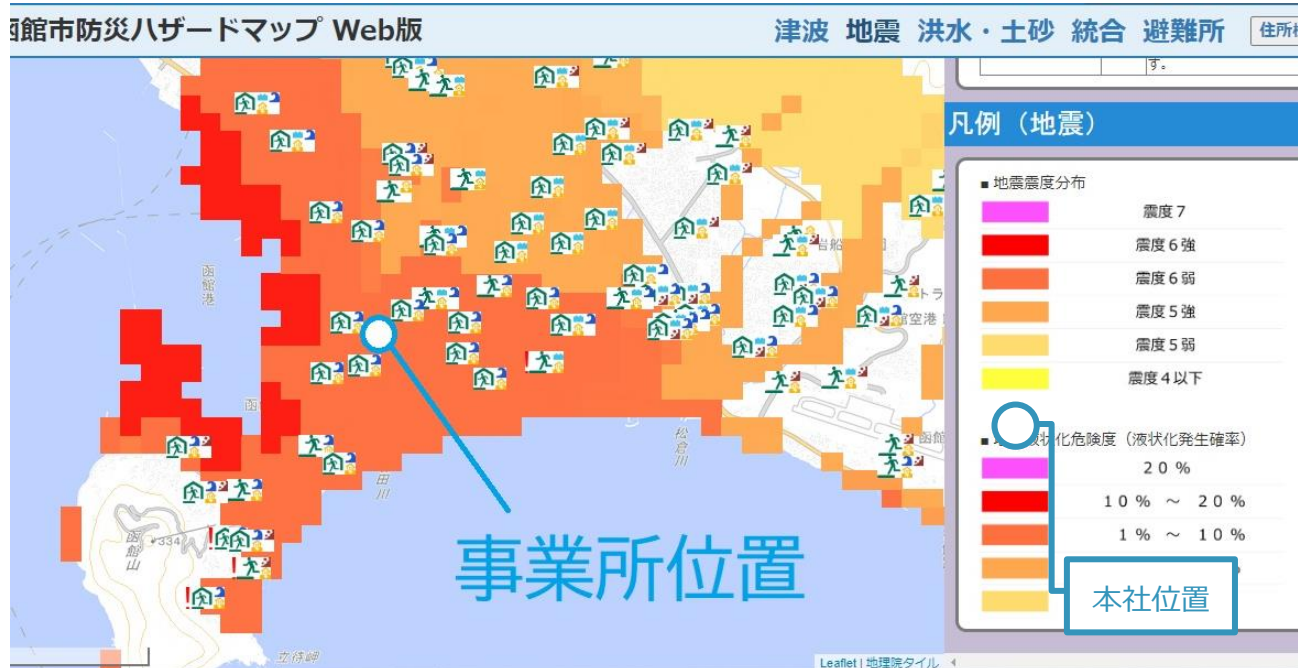
項目	想定される影響
ヒト 	<ul style="list-style-type: none">一部の家族が新型インフルエンザに感染する
モノ 	<ul style="list-style-type: none">物流網の混乱や取引先企業の事業停止により、原材料・部品・商品等の供給が停止する燃料が不足する
情報 	<ul style="list-style-type: none">一部機能の低下の可能性はあるが、基本的には通常どおりに利用できる
カネ 	<ul style="list-style-type: none">事業が停止してしまい、その間の売上がなくなる事業所の運転資金が必要となる

(2) ハザードマップ

地震分布 (想定：日本海・太平洋・直下型)



液状化危険度 (想定：日本海・太平洋・直下型)



(3) 避難場所

中島町 11 番は函館市防災ハザードマップに基づき「中島小学校」が広域避難場所として指定されています。地震が発生した際は、まずは自席にて身を守り、その後安否確認サービスなどの指示に従って落ち着いて避難・行動して下さい。



(4) 主要な連絡先

区分		連絡先名	電話番号
ライフライン	電気	ほくでん 停電情報自動応答専用ダイヤル	0120-165-597
	水道	函館市水道お客さまセンター	0138-27-8731
	通信 (UQ)	UQ mobile お客さまセンター	0120-929-818
	通信 (au)	au お客様センター	157 0077-7-111
	通信(CATV)	NCV 函館センター	0138-34-2525
行政・団体等	警察	函館方面本部警察相談センター	#9110
	消防	函館市消防本部 災害案内テレホンサービス	050-5536-6968
	防災対策一般	函館市災害対策課	0138-21-3648
	防災無線	函館市防災無線 確認ダイヤル	0120-367-676
医療機関	休日夜間対応	北海道救急医療情報案内センタ ー	0120-20-8699 (携帯・PHS : 011-221-8699)
個人情報保護	個人情報保護 委員会	個人情報保護法相談ダイヤル	03-6457-9849
保険会社	自動車事故 任意保険	損害保険ジャパン株式会社 お客さま総合窓口	0120-888-089
		損害保険ジャパン株式会社 保険金支払ご相談窓口	0120-668-292
	ビジネス保険	東京海上日動火災保険株式会社 お客様相談センター	0120-071-281
安否確認	災害時安否 確認サービス	災害用伝言ダイヤル	171